

「認知症におけるボルナウイルス属ウイルス感染の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2006年1月～2023年7月の間に認知機能低下のため当院精神神経科を受診され、「認知症の関連遺伝子探索研究」あるいは「神経科・精神科患者の試料および診療情報の保存を行う包括同意」研究に同意いただき研究用採血を行い、認知機能検査を行った患者さん

2. 研究目的・方法

研究の目的は、認知機能低下とボルナウイルス属ウイルスの感染とのあいだに関連があるかどうかを調べることです。

方法は、採血し保存させていただいている血液を用いて、ボルナウイルス属の4種のウイルスに対する抗体を測定し、その結果と認知症のタイプおよび認知機能検査結果との関連を調べます。また、健康対照群、他疾患対照群との間で、抗体検査結果の比較検討も行います。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028年7月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、認知機能低下の病歴、その他の合併症、各種認知機能検査結果

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

京都産業大学生命科学部先端生命科学科

ラジオリガンドアッセイによるボルナ病ウイルスに対する抗体陽性例、及び一部の抗体陰性例に対して、間接蛍光抗体法による結果確認を行います。番号を付与した試料を運送会社に委託して搬送します。

東京農工大学農学部共同獣医学科

ラジオリガンドアッセイによる鳥ボルナウイルスに対する抗体陽性例、及び一部の抗体陰性例に対して、間接蛍光抗体法による結果確認を行います。番号を付与した試料を運送会社に委託して搬送します。

なお、本研究では、以下のように他の医療機関から試料・情報の提供を受けます。

大阪急性期・総合医療センター精神科

一部の健康対照者の試料・情報、及び、他疾患対照（精神疾患）の試料・情報
試料・情報の搬送は研究分担者が行います。

5. 研究組織

研究機関

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 森康治

既存試料・情報の提供のみを行う機関

大阪急性期・総合医療センター精神科 松永秀典

検査機関

大阪大学医学部未来医療イメージングセンター 松永秀典

京都産業大学生命科学部先端生命科学科 西野佳以

東京農工大学農学部共同獣医学科 オブライエン悠木子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

565-0871 吹田市山田丘 2-15

大阪大学医学部附属病院 神経科・精神科 助教 佐藤 俊介

同

講師 森 康治

電話 06-6879-5500

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 講師 森 康治